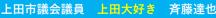


🗂 note 🚺 💥









2024年(令和6年)第25号



昨年も多くの皆さまに様々な形で支えて頂きまして、誠に ありがとうございました。市役所の組織改正により、 員長を務める産業環境委員会の所管に市政の最重要課題であ る資源循環型施設(新たに建設予定のごみ焼却施設) それに関連する生ごみ堆肥化施設整備(裏面ご参照) 新電力など2050年ゼロカーボンに向けての取組み等が加わり、 非常に責任とやりがいのある委員会活動となりました。

今年は先の重要課題に加え、上田市の先人たちが100年前 から築き上げてきてくださった貴重な財産でもある水道事業 の合併(広域化)に向けての検討も加速化される見通しです。 この数年の私たちの判断が、子どもたち将来世代に与える影 響が非常に大きいため、引き続き、強い危機感を持って、 是々非々の姿勢で市政に向き合って参ります。本年もよろし くお願い致します。

【質問の意図】

上田市の財政状況の見通 しは非常に厳しく、既存事 業の見直しやハコモノ(公共施設)の経営改善、公民 連携(民間活力の導入)等 を積極的に進めなければ、 教育・子育てや医療・の投 等、より重要な分野への投 資ができなくなります。

新たなハコモノである生ごみ堆肥化施設整備計画は、現時点で建設費が16億円、維持管理費が年間6,500万円程度と見込まれており、市の財政に与える影響うられた。 市の財政に与える影合うと、大き見込まれない。 市の財政に与ない。 市の財政に与ない。 市の財政に与ない。 大き見いまれない。 大き見いまれない。 大き見いまれない。 大きり、 大きり 大きり 大きり、 大きり、 大きり、 大きり、 大きり、 大きり、 大きり、 大きり、 大きり、 大きり、

問 生ごみの分別回収の対 象となる地域、人口等は具 体的にどうか。

答(環境部長)上田地域の 東部、南部、中央、北部な ど中心市街地や人口が集中 している63自治会と丸子 地域の建設予定地周辺の9 自治会、計72自治会で約 57,000人(27,000世帯)。 問 対象範囲を絞ることは、施設整備の主目的である上田市全体で市民がごみ問題を自分事として考えることとは相反すると考えるが、見解はどうか。

答(環境部長)自己処理が 困難な地域として中心市街 地から分別回収する計画と なっている。建設予定地の 丸子地域でも理解を得てき たところであり、上田地域 の対象地域の方々にも説明 会などを通じて認識いただ けるものと考えている。

いるか。 答(環境部長)同補助金の 累計申請件数は、電気式が 約3,600件、コンポストが 約2,500件となっており、 合計6,100件、9割以上の 方が継続使用している。令 和6年度は継続するが補助 率の見直しを検討している。